



都市計画道路荒川沖木田余線の渋滞解消を



古沢 喜幸 議員

△質問▽

通称荒木田線の駅東側の渋滞対策としてバイパスを整備することを提案する。具体的には、湖北流域下水道事務所西側の道路を南に向かって行くと、土浦新港で行き止まりになる地点の約百八十メートル先に川口運動公園の外周道路がある。来年三月で店じまいをする京成ホテル側からその道路の用地を買収すれば、一応バイパス道としては完成するはずである。これはかなり緊急を要することだと思いが、考えを伺う。

△建設部長▽

御提案のバイパス道路は、通称荒木田線を一時迂回して通行できるものの、渋滞区間を脱し得ない駅東口の手前の市営駐車場脇でまた同じ路線に戻ることになる。また、通過箇所には、県が管理している土浦新港があり、許可車

両以外の一般の立ち入りは厳格に禁止されている。さらに、湖北一、二丁目の住宅地内の道路に交通渋滞を避けるためのバイパスの機能を持たせることは、地元住民の十分な理解を得ることも必要になる。このようなことから、御提案のルートにバイパスの機能を持たせるような道路整備は難しいと考えている。

（掲載以外の質問事項）

- 一 朝日トンネルの具体的なメリットについて
- 二 水道新設管及び配管布設替えを実施する基準について
- 三 土浦市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例（残土条例）の改正について

京成ホテル撤退に対する市長の政治姿勢と今後の土地利用、規制について



柏村 忠志 議員

△質問▽

土浦の現在及び将来のまちづくりの重要な拠点である霞ヶ浦の水辺空間にある土浦

京成ホテルが撤退し、跡地にマンションが建設されるといふ新聞報道を受け、この事態に対し、市長の対応いかによっては、政治姿勢が根本的に問われる問題である。また、京成ホテル跡地を含めて土浦港湾地域を土浦都市計画マスタープランの目指す親水、観光の拠点にするには、今後の土地利用及びその規制について、都市計画法の高さ制限や景観条例などを含めてどのような施策を考えているのか。

△市長▽

京成ホテル敷地を対象として個別に制限を加えることは、まず土浦市全体の土地利用の在り方や環境、景観上の諸施策など総合的な上位計画の裏付けをもって具体的な手続を経る必要があるし、難しいと考えている。したがってこの土地に対する考え方としては、開発事業者も現在のマリーナの活用や集客施設等複合的な土地利用を考えているようなので、開発計画の事前相談の中で景観面の配慮や多くの市民が利用できる施設の導入など、民間経済力の活用によって霞ヶ浦湖畔の立地にふさわしい計画になるよう話し合っ

ていきたい。

（掲載以外の質問事項）

- 二 小中学校教員は忙しいのか？その勤務実態と評価について

新年度はどのような新規事業を予定しているのか



中田 正広 議員

△質問▽

土浦市は、真摯に将来を見つめて財政再建、支出の見直しの過程にいと認識している。中川市長もこの三年間、まず財政を整えるということ、まず財源確保を掲げて実務に取り組みまれていることは大変評価すべきと思っている。そのような中で、平成十九年度の予算の中で、どのような新規事業を予定しておられるのか、目玉事業や新しい試みがあったら紹介いただきたい。

△市長▽

平成十九年度の予算編成に当たっては、日本一住みやすいまちの実現に向け、七つの基本政策のさらなる推進を図ってまいります。中でも緊

急の課題である中心市街地の活性化に向け、土浦駅前北地区市街地再開発事業を推進するほか、県道小野土浦線の整備、朝日峠のトンネル化、まちづくり活性化バスや食のまちづくり整備事業、自主防犯組織育成事業、さらには少子高齢化社会に対応した福祉施設等その着実な推進に努めるなど、土浦らしさが発揮できるようにきめ細かく目を配ってまいります。

（掲載以外の質問事項）

- 二 住宅公社の整理について
- 三 常名運動公園及び既存の運動公園施設整備について
- 四 都市計画道路荒川沖木田余線完全四車線化について

トンネル整備後の小野小町、新治地区観光集客はどうするのか



宮本 勉 議員

△質問▽

八郷地区においては、イチゴの里、フラワーパーク、献上柿、みかん狩りなど、果物の宝庫であり、畜産試験場でのイベント、温泉ゆりの郷等